

平成 28 年度

第 10 回近畿「子どもの水辺」交流会 in 兵庫

～未来につなぐ、水辺からのおくりもの～

開催結果報告



©兵庫県 2007

平成 29 年 2 月 4 日（土）に、第 10 回を迎えた近畿「子どもの水辺」交流会が兵庫県において開催され、近畿各地の小・中学生 170 人と引率者を含めて総勢 310 人が集まり、それぞれの地域や学校で取り組んでいる身近な水辺での活動を発表しました。

この交流会は、近畿の水辺活動団体等のベテラン実行委員と、大学生による若手実行委員が協力して企画・運営し、当日は、子どもたちが活発に交流できるよう、若手委員がコーディネータなどを務めました。

参加した子どもたちは、水辺の仲間たちと、「水辺からのおくりもの」や「おくりものを未来につなげるにはどうしたらいいのか」について話し合い、水辺の知識を深めながら交流しました。

また、体験交流プログラムでは、「川」・「ため池」・「海」・「水質」・「生き物」について、専門家から話を聞き、生き物に触れたり、水質実験などを体験しました。

近畿「子どもの水辺」交流会は、水辺に関わる子どもたちが、川の上下流・府県間での交流を深め、水辺活動の継続・広がりをめざし、様々な視点から水辺との関わりや活動について発信する機会として、平成 19 年度から毎年開催しています。



●主催／近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

（近畿府県の水辺活動団体等、近畿の学生、近畿地方整備局、近畿各府県、大阪市、河川財団、近畿建設協会）

●後援／近畿農政局、近畿地方環境事務所、近畿各府県教育委員会、近畿各政令市、近畿各政令市教育委員会、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、サンテレビ



近畿「子どもの水辺」交流会は、公益財団法人河川財団の河川基金、一般社団法人近畿建設協会の公益事業支援金の助成を受けています

第10回近畿「子どもの水辺」交流会概要

テーマ ～未来につなぐ、水辺からのおくりもの～

●日時：平成29年2月4日（土）10:00～15:40

●場所：兵庫県民会館（神戸市中央区下山手通4-16-3）

交流会 プログラム

展示ブース

- ポスター展示
- 外来生物の話や標本展示
- 投網体験

第1部 開会式

- 会長あいさつ、開会宣言、「兵庫の水辺」紹介、参加団体紹介

第2部-1 グループ別発表会

- 小中学生による水辺活動の発表、意見交換

第2部-2 体験交流プログラム

- 川の改修や災害、コウノトリの生態、ため池や瀬戸内海・日本海の生物、水質に関する話や体験

第3部 グループ別交流会

- 「水辺からのおくりもの」と「未来につなぐために」について意見交換
- 10年後に届く「未来のぼく・わたしへの手紙」の作成

第4部 全体交流会・閉会式

- 各グループ代表の子どもが「水辺からのおくりもの」等を発表
- 会長から子どもたちへのメッセージ

兵庫県

- アシレンジャー
- 三田市立武庫小学校さかな委員会
- 自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ
- 神戸市立西舞子小学校
- 玉ーアクアリウム（玉津第一小学校）
- 南あわじ市立三原中学校理科部
- れいんぼう☆キッズ
- 神戸市立名谷小学校
- 神戸市立高丸小学校
- 神戸市立伊川谷小学校
- 神戸市立菅の台小学校
- 神戸市立垂水小学校3年生

滋賀県

- NPO 法人 蒲生野考現倶楽部
- TANAKAMI こども環境クラブ
- 下之郷遺跡キッズクラブ『GO Kids』
- ラムサールびわっこ大使
- いきものみっけ寺子屋
- なかつ野洲川たんけん隊

京都府

- 神谷知宏
- 鴨川探検隊西山和治郎
- 木津川川ガキ団
- こども海ごみ探偵団
- 宇治市立広野中学校科学部
- 西京極児童館自然探検隊2004
- 特定非営利活動法人子どもと川とまちのフォーラム
- 京都市立静原小学校3,4年生

大阪府

- 貝塚市立永寿小学校ふれあいルームかわっぱクラブ
- 川とあそぼう♪大和川クラブ
- ねや川水辺クラブジュニア
- 八尾市立東中学校科学部
- 「私の水辺」大発表会実行委員会中河内委員会

奈良県

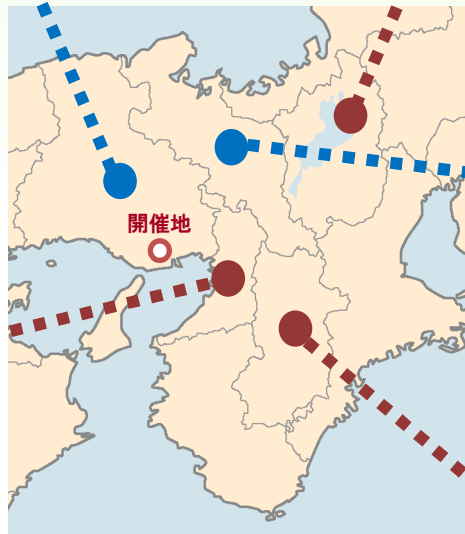
- 明日香自然観察会
- 橿原市立畝傍中学校科学部

海外

- 元参加型環境教育研究会有志（タイの子どもたちの作品）

○発表参加 27 団体

●展示参加 7 団体



第1部 開会式

● 参加者全員で開会宣言！！

交流会には、近畿各地から 27 団体が兵庫に集まりました。実行委員会の福本吉雄会長と子どもたちが一緒になって開会を宣言し、第 10 回近畿「子どもの水辺」交流会 in 兵庫がスタートしました。



● 「兵庫の水辺」を紹介

若手委員の矢田部恵美さんが、兵庫県の水辺の特徴について紹介しました。

写真や動画をスクリーンに映しながら、兵庫県が近畿で唯一、日本海と瀬戸内海に面していることや、本州一低い氷上回廊の分水界、円山川でのコウノトリの野生復帰の取組み、また、全国一の約 38,000 箇所を誇るため池の四季折々の風景、ため池に生息する生き物、ため池の水を落として魚とりを行う「かいぼり」の様子を紹介しました。



● 近畿各地から集まった水辺の仲間を紹介

若手委員の矢放七海さんが、交流会に参加した 27 団体の活動内容の説明と「水辺活動の様子」「仲間の写真」をスクリーンに映し、参加者全員に紹介しました。参加者は今日一日交流する仲間のことを知ろうと興味深く聞いていました。



第2部-1 グループ別発表会

27 団体が6つのグループに分かれ、若手委員のコーディネートにより、子どもたちが日頃取り組んでいる水辺の活動を、工夫をこらしてまとめたポスターを使って発表し合いました。発表を聞いた子どもたちは、質問したり感想を伝えるなどして水辺の知識を深めながら交流しました。

Aグループ

●コーディネータ：多久流行さん ●サブ：大脇巧己さん・橋本夏次さん

- ① NPO 法人蒲生野考現倶楽部（滋賀県）
「わくわく日野川探検隊 2016 による水の命の宝物探し」
- ② 神谷知宏（京都府）
「移入種と生物多様性」
- ③ 貝塚市立永寿小学校ふれあいルームかわっぱクラブ（大阪府）
「灯ろうのあかりで伝えよう、貝塚の心、近木川龍王伝説」
- ④ アシレンジャー（兵庫県）
「住宅地の近くでも見つけた水辺からのおくりもの」
- ⑤ 明日香自然観察会（奈良県）
「日本のふるさと、明日香の水辺」



Bグループ

●コーディネータ：芝地素直さん ●サブ：澤井健二さん

- ① TANAKAMI こども環境クラブ（滋賀県）
「生き物たちが集まる水辺
～田上山の水辺と琵琶湖～」
- ② 鴨川探検隊西山和治郎（京都府）
「『ぼくのかも川さんぽ図鑑4』
生まれる命・育つ命、命を育てる川の役割」
- ③ 川とあそぼう♪大和川クラブ（大阪府）
「きれいな大和川であそびたい」
- ④ 三田市立武庫小学校
さかな委員会（兵庫県）
「生きもののおすみか『ピオトープ』を守るために」
- ⑤ 橿原市立畝傍中学校科学部（奈良県）
「飛鳥川流域の河川生態系の調査研究と再生活動」



Cグループ

●コーディネータ：田村達晃紀さん ●サブ：田中実知世さん・野田晃弘さん

- ① 下之郷遺跡キッズクラブ『GO Kids』（滋賀県）
「弥生人の暮らしを体験し、下之郷遺跡の魅力を内外に発信し、PR 活動をする」
- ② 木津川川ガキ団（京都府）
「木津川は、川ガキたちの遊び場！
楽しく学んで、仲間がいっぱい」
- ③ ねや川水辺クラブジュニア（大阪府）
「水辺で遊び、学び、知る。
そして守り、つなげる」
- ④ 自然と文化の森協会
・猪名川キッズクラブ（兵庫県）
「大好き、猪名川・藻川」



Dグループ

●コーディネータ：北野大輔さん ●サブ：水野知代さん・山村武正さん

- ① ラムサールびわっこ大使（滋賀県）
「行って気づいた、日本と海外との「水」をとりまく環境での付き合い方の違い」
- ② こども海ごみ探偵団（京都府）
「海のないまち京都・亀岡から海ごみ問題を考える」
- ③ 宇治市立広野中学校科学部（京都府）
「名木川の水質調査を通して、身のまわりの環境問題を考える」
- ④ 神戸市立西舞子小学校（兵庫県）
「それいけ！西舞っ子生き物調査隊」



Eグループ

●コーディネータ：矢田部恵美さん ●サブ：辰谷直子さん・谷幸三さん

- ① いきものみっけ寺子屋（滋賀県）
「稀少な命を残したい、田んぼ・川・ため池でのいきものみっけ」
- ② 西京極児童館自然探検隊 2004（京都府）
「川は遊び場、みんな楽しもう！」
- ③ 玉ーアクアリウム（玉津第一小学校）（兵庫県）
「明石川の一年の定点調査」
- ④ 南あわじ市立三原中学校理科部（兵庫県）
「『よみがえれ！ホテルの里』～未来へつなぐホテルの光～」



Fグループ

●コーディネータ：小林慧人さん ●サブ：中辻英克さん・市川勝己さん

- ① なかす野洲川たんけん隊（滋賀県）
「野洲川のめぐみをいただき、伝承を伝える---野洲川レストラン」
- ② 特定非営利活動法人 子どもと川とまちのフォーラム（京都府）
「みんなを笑顔にする自然」
- ③ 京都市立静原小学校 3, 4 年生（京都府）
「私たちの静原川は、楽しい、美しい、いつまでも」
- ④ 八尾市立東中学校科学部（大阪府）
「八尾東中学校区における恩智川の水質調査報告」
- ⑤ れいんぼう☆キッズ（兵庫県）
「私たちの川 福田川とビオトープ整備」



第2部-2 体験交流プログラム

川の改修や災害、コウノトリの生態、ため池や瀬戸内海・日本海の生き物、水質などの様々な水辺について、専門家から話を聞き、生き物に触れたり、実験するなどして楽しく体験しました。

川

- ・川の改修や災害の話
- ・模型を使ったため池の治水活用の話

協力：兵庫県河川整備課、総合治水課



海

- ・日本海や瀬戸内海の生き物の話
- ・海の資源の循環の話

協力：兵庫県水産課、尼海の会



ため池

- ・ため池の生き物の話
- ・ため池の生き物に触れる

協力：播磨ウェットランドリサーチ、和亀保護の会



生き物

- ・剥製を使ったコウノトリの生態の話
- ・コウノトリの羽を使った模擬体験

協力：兵庫県立コウノトリの郷公園



水質

- ・パケットテストの水質実験

協力：株式会社共立理化学研究所



展示ブース

ポスター展示

展示参加団体の水辺活動のポスターや、タイの子どもたちの作品などを展示しました。

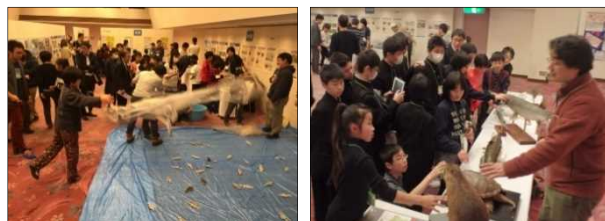
- ①木津川川ガキ団
- ②「私の水辺」大発表会
実行委員会中河内委員
- ③神戸市立名谷小学校
- ④神戸市立高丸小学校
- ⑤神戸市立伊川谷小学校
- ⑥神戸市立菅の台小学校
- ⑦神戸市立垂水小学校 3年
- ⑧元参加型環境教育研究会有志



フリー体験（昼休み）

協力：兵庫県立人と自然の博物館、
自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ

専門家に教わりながら投網を体験したり、兵庫県立人と自然の博物館の学芸員から、外来生物の生態やその影響について標本を使ってわかりやすく解説してもらいました。



第3部 グループ別交流会

グループ別交流会では、第2部-1と同じグループに分かれ、子どもたちが「水辺からのおくりもの」と「未来へつなげるために」について話し合いました。グループ別発表会や体験交流プログラムで学んだことを生かし、3つのおくりものを決め、それらを未来につなげるために何をしたらいいかを考え、意見交換しました。

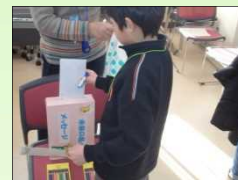
話し合って決めた「水辺からのおくりもの」

A	B	C	D	E	F
<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな食べ物を与えてくれる ・ 人・魚全てが生きられるきれいな水 ・ 生き物全てを保護する機会をくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水辺で皆と一緒に遊べる楽しさ ・ 季節毎に変わる生き物 ・ 命・自然・生き物の恵み・きれいな景色 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川あそび ・ 自然 ・ 水を使った文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水辺の自然 ・ 水辺から生まれる命とそのつながり ・ 水辺を大切に思う心 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 命 ・ 食べ物 ・ 豊かな自然 	<ul style="list-style-type: none"> ・ のみみず ・ いきもの ・ きれいな



○未来のぼく・わたしへのメッセージ

参加した子どもたちがそれぞれ考えた「水辺からのおくりもの」や、「未来のぼく・わたしに伝えたい水辺」などについて、10年後の自分へ宛てた手紙を書きました。



第4部 全体交流会・閉会式

○ 全体交流会では、第3部で話し合って決めた「水辺からのおくりもの」や「未来へつなげるために」を各グループの代表がみんなの前で発表しました。「未来につなげるために」では、「安全に遊べる川をつくる」、「川の『あそび』『自然』『文化』を伝え続ける」、「生き物が住みやすい環境をつくる」、「水の大切さを伝える」など様々な発表がありました。



発表の後、子どもたち全員の「未来のぼく・わたしへの手紙」を10年後に届けてくれるよう、はばタンにお願いして渡しました。



○ 閉会式では、福本吉雄会長から子どもたちにメッセージが伝えられ、交流会が閉幕しました。

参加した子どもたちの感想

● 「水辺からのおくりもの」を話し合い、気づいたことや発見したことは？

- 色々なおくりものを水辺からもらえていること。
- 飲み水が水辺からのおくりものなんて思いつきませんでした。
- 水のきれいさは人にとってのものすごく重要なことだということがわかりました。
- これからも川や魚や生き物を大切にしたいと思った。
- 近畿だけでもいろいろな川があった！
- 知らなかったことがいっぱいあった。他の川に遊びに行きたくなった。
- 命やきれいな自然豊かな環境の大切さ。
- みんなそれぞれ思っている「おくりもの」が違うけど、どれも大切だと思いました。
- みんな、水辺のことが好きなんだと思った。

● 10年後、身近な水辺とどのように関わってみたいですか？

- 川で魚をとりたい。
- 養殖に関わりたい。
- 外来種の駆除をして、在来種を増やしていきたい。
- 洪水がない人々が安心して安全でいられるようにしたい。
- 親水空間を増やして、水辺と関われる機会をつくる。
- ゴミを川に捨てず、川をきれいにしていく。
- 絶滅危惧種の生き物がいるので大切にしていきたい。
- 今は参加する側なので、10年後には伝えたりイベントをする立場になりたいです。
- ちょっとずつ、手紙に書いた目標が近くにくるような気がするようにしたい。
- もっと調査したり、水辺のことについて深く考えたり、遊んだりしてほしいです。
- 今のよう楽しく安全に活動していきたい。

近畿「子どもの水辺」交流会のこれから

平成 19 年度からスタートした近畿「子どもの水辺」交流会は、平成 28 年度の第 10 回をもって一旦休止します。

交流会実行委員会は、平成 29 年度から「近畿『子どもの水辺』交流協議会」へ組織を改め、これまでの交流で築かれた水辺の仲間とのつながりを持続し、引き続き、子どもたちの「水辺」への関心の向上、水辺活動の継続・広がりをめざした取組みを進めます。

お問い合わせ先

- 国土交通省 近畿地方整備局 河川部 地域河川課
TEL : 06-6942-4407 FAX : 06-6942-1867
- 福井県 土木部 河川課
TEL : 0776-20-0480 FAX : 0776-20-0696
- 三重県 県土整備部 河川課 河川計画班
TEL : 059-224-2682 FAX : 059-224-2684
- 滋賀県 土木交通部 流域政策局 河川・港湾室
TEL : 077-528-4154 FAX : 077-528-4904
- 京都府 建設交通部 河川課
TEL : 075-414-5288 FAX : 075-432-6312
- 大阪府 都市整備部 河川室 河川環境課
TEL : 06-6944-9306 FAX : 06-6949-3129

- 兵庫県 県土整備部 土木局 総合治水課
TEL : 078-362-9261 FAX : 078-362-3942
- 奈良県 県土マネジメント部 河川課
TEL : 0742-27-7504 FAX : 0742-22-1399
- 和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課
TEL : 073-441-3134 FAX : 073-433-2147
- 大阪市 建設局 下水道河川部 河川課
TEL : 06-6615-6839 FAX : 06-6615-6583
- 公益財団法人 河川財団 近畿事務所
TEL : 06-6942-2310 FAX : 06-6942-2118
- 一般社団法人 近畿建設協会
TEL : 06-6941-0174 FAX : 06-6941-1742